

○ 理化学課 環境衛生担当

1 行政検査

環境衛生の確保及び公衆衛生の向上のため、水道原水や家庭用品等の検査を行い、環境保全関係では特定事業場排水や産業廃棄物最終処分場放流水等の検査を行いました。

また、苦情事例に関しては保健福祉事務所と連携をとり、原因究明検査を行いました。平成30年度の検査状況は次のとおりです。

検査区分	検体数	延検査項目数
産廃最終処分場モニタリング調査(管理型)	69	880
産廃最終処分場モニタリング調査(安定型)	176	2,526
産廃最終処分場モニタリング調査(その他)	32	686
特定事業場排水の一般項目検査	164	473
水道水質管理目標設定項目検査(原水)	5	620
水道水質管理目標設定項目検査(浄水)	5	45
家庭用品試買検査(ホルムアルデヒド・アゾ化合物)	8	150
廃棄物検査	4	4
事故・苦情関連検査	2	2
計	465	5,386

2 精度管理調査

検査技術の向上を図るために、国が実施する外部精度管理に参加しました。

- (1) 水道水質検査精度管理調査(厚生労働省) 件数:2件 延項目数:2
 - ・ 無機物試料(測定項目:鉛およびその化合物)
- (2) 環境測定分析統一精度管理調査(環境省) 件数:1件 延項目数:15
 - ・ 模擬排水試料(測定項目:カドミウム、鉛、ヒ素、鉄、マンガン)

3 調査研究

県内の検査・研究機関のリーダー的役割を担うために、現在の検査技法(手法)に加え新たな手法の研究開発に取り組みました。また、県内外の研究機関や大学と共同での研究開発にも参加しています。

研究テーマ

- 1) 厚生労働科学研究「水道水質の評価及び管理に関する総合研究」
 - ・ 網羅的水質スクリーニング手法の検討(研究協力)
- 2) 環境省化学物質環境実態調査「LC/MS ハンターゲット分析法・スクリーニング分析法検討会」
- 3) 水質事故等にかかる原因物質の検索手法の開発